

## 委員会報告

### 八五年度第三回運営委員会

表記の運営委員会は一九八五年二月一六日、中央大学会館において開かれた。審議された事項は左記の通りである。

一、学術会議議員の推薦人について

社会学 島崎 稔会員

経済史学 安孫子 麟会員

次回には農業経済学の方で努力する。

二、編集委員会より

本年度年報は二五〇頁くらいとし別刷はなし、執筆者は自由報告について写しを三部、課題報告について写しを二部、編集委員会へ送付すること。切厳守。

三、八五年度大会事務局より

大会事務局の愛知大学渡辺会員より会場として

雇用促進事業団 「三河ハイツ」

444-01 愛知県額田郡幸田町遠望

電話 〇五六四六一二一七五一

日程は日本社会学会との関係でとりきめることとし、大会事務局に一任することになった。

なお、当日、柿崎会員より「第六回世界農村会議」の報告があっ

た。昭和五九年二月一五日、一七日と二一日にわたってマニラ市フィリピン国際会議場でのこの会議は、主として東南アジアなどの発展途上国の農業開発計画を中心に討論され、参加者は延三五〇人、約五〇か国におよんだという。

### 運営委員会・宿題委員会合同委員会

一、共通課題と研究会の開催予定について、種々審議の結果、三月二六日に宿題委員会を開き、そこで決定することとした。

両委員会への出席者は左の通りである。

高山隆三、松田苑子、渡辺 正、皆川勇一、柄沢幸雄、柿崎京一、

高橋正郎、長谷川明彦、高橋明善、島崎 稔、事務局。

### 第二回宿題委員会

表記の委員会は一九八五年三月一六日、中央大学会館で開かれた。審議された事項は左の通りである。

一、第一回研究会を四月一三日（土）中央大学会館にて開く。報告者は高山隆三会員と辻雅雄氏（農水省農業研究センター）におねがいする。

二、関東地区研究会を五月一八日か五月二五日に行い、川本彰会員に報告をおねがいしてみる。

三、七月一三日（土）に第三回研究会を行うことを予定し、地区研究会と第三回研究会との中間に特別研究会をもつことを予定とする。

本委員会への出席者は、左の通りである。

高山隆三、高橋正郎、吉沢四郎、長谷川昭彦、柄沢行雄、事務局。

### 大会事務局よりの御案内

四月一三日第一回研究会終了後、大会事務局渡辺正会員より、本年度大会は、

昭和六〇年一〇月三十一日（木）と十一月一日（金）とする。なお、遠方の会員の便宜のため、一〇月三〇日から宿泊できるようにするとの報告があり、了承された。

### 運営委員会・宿題委員会合同委員会

表記の委員会は昭和六〇年五月一八日（土）関東地区研究会終了後に開かれた。これは緊急を要し、重要な事項である。

一、本年度報告者公募の件

共通課題「土地と村落——土地利用秩序と村落の土地管理機能」と自由課題についてである。

ノ切 昭和六〇年七月一三日（土）

宛先 390 松本市旭三——

信州大学人文学部社会学研究室

村落社会研究会 事務局

二、第三回研究会の件

日時 昭和六〇年七月二〇日（土）一三時三〇分

場所 中央大学会館（国電お茶の水駅下車書店「丸善」左を下る）

本委員会への出席者は次のとおりである。

安原 茂、長谷川昭彦、吉沢四郎、島崎 稔、高橋明善、松田苑子、杉岡直人、事務局。